

(仮称) 仙台市文化芸術推進基本計画
(2024－2028) の方向性について

計画策定の目的・背景

(1) 計画策定の目的

- 仙台市の文化芸術に関する施策を体系的に整理するとともに、文化芸術が持つ多様な力をまちづくりに活かすため、文化振興の新たな方向性を示す「(仮称)仙台市文化芸術推進基本計画」を策定する
- 計画期間は令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とする

(2) 計画策定の背景

■ 社会情勢の変化

- 人口減少社会の進展と少子高齢化、情報通信技術等の進展など
- 新型コロナウイルス感染症の影響
- SDGs

■ 国の動向

- 文化芸術基本法
- 文化芸術推進基本計画
- 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の成立および計画
- 劇場音楽堂等の活性化に関する法律
- 文化財保護法の一部改正
- 博物館法の一部改正

■ 仙台市の方針

- 仙台市基本計画

本日も議論いただきたい点

今回の懇話会では、本市の文化芸術面の「強み・個性」と「課題」を踏まえつつ、計画の「基本理念・目指す姿」や「施策の方向性」を中心にご議論をいただきたい。

<懇話会での意見交換の予定>

第1回懇話会 (3月28日開催)	<ul style="list-style-type: none">・ 策定の目的及び計画の位置付け、国の動向及び社会的背景、本市の文化芸術振興の取組み等の確認・ 計画の大枠に関する意見交換
第2回懇話会 (7月5日開催) ※今回の懇話会	<ul style="list-style-type: none">・ 市民意識調査の結果や、文化活動団体へのヒアリングでの意見等を踏まえた本市の文化芸術の現状分析・ 骨子案に向けた具体的な方向性に関する意見交換
第3回懇話会 (9月予定)	<ul style="list-style-type: none">・ 骨子案に関する意見交換
第4回懇話会 (11月予定)	<ul style="list-style-type: none">・ 中間案に関する意見交換 <p><u>※開催後、パブリックコメントを実施予定。</u></p>
第5回懇話会 (令和6年1月予定)	<ul style="list-style-type: none">・ パブリックコメントの結果報告・ 最終案に関する意見交換

本市の文化芸術面の主な「強み・個性」と「課題」を踏まえた方向性

市民意識調査や文化団体へのヒアリング結果を踏まえた本市の文化芸術面の主な「強み・個性」と「課題」と、これらを踏まえた方向性を整理すると、下記のとおり。

(1) 強み・個性

①文化的な土台を有する

- ・ 仙台藩初代藩主の伊達政宗公が築き、現代にも通じる町割りの礎ともなった城下町をはじめ、様々な文化や風土が生まれてきた歴史資産がある。
- ・ 「楽都」「劇都」、およびフラッグシップとなってきたせんだいメディアテークの取組みや市民主体の活発な活動など、官民双方による文化芸術に関する取組みの長年の蓄積がある。
- ・ 東日本大震災からの復興の過程において、文化芸術の力を再認識させた多様な文化的な取組みの蓄積がある。

②音楽イベントやまつりなど、まちづくりの柱となるコンテンツが数多く存在

- ・ 「仙台クラシックフェスティバル」、「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」といった音楽イベント、「仙台青葉まつり」や「仙台七夕まつり」といった伝統あるまつりなど、文化芸術に身近に接することができ、交流人口の拡大にもつながる数多くのコンテンツが存在する。
- ・ 仙台を舞台とする漫画やアニメなど、新たなコンテンツも生まれている。

③若者を応援する風土がある

- ・ また「仙台国際音楽コンクール」「仙台短編文学賞」「建築設計日本一決定戦（せんだいデザインリーグ）」「仙台短篇映画祭」などを通じ、国内外から豊かな才能を持つ人材を呼び込み、応援する風土がある。

④文化芸術に対する高い市民意識

- ・ 文化芸術を鑑賞することや文化芸術活動を行うことが「非常に大切」「ある程度大切」と回答した割合は、鑑賞や活動を行わない層も含めて高く、文化芸術に対する市民の意識は高い。

⑤都市特性上の比較優位性

- ・ 本市の人口動態、産業構造、東北における拠点性を踏まえると、比較的大きな市場性を有し、人口規模を上回る集客力が期待できる。

「強み・個性」を活かした方向性（案）

- 長年、市民協働により培われた本市の文化事業の一層の推進と、市民の文化芸術活動の活性化を図る
- 本市の都市個性ともなる伝統芸能や文化財、様々な災禍を踏まえた経験など、過去からの多様な蓄積を適切に保存し、その価値への理解を広め、未来に継承し、発展させる
- 本市の多様な文化的コンテンツを国内外に発信し、都市のブランド力を高め、まちの活力につなげる
- 若い世代による新しい表現を大切にし、国内のみならず世界から豊かな才能を持つ人材を惹きつける

本市の文化芸術面の主な「強み・個性」と「課題」を踏まえた方向性

(2) 課題

①興味関心から実際の鑑賞・活動につながる方策、アクセス改善

- ・鑑賞・活動および情報の入手に関する市民の多様なニーズを踏まえた取組みが必要。
- ・子どもたちの文化芸術に親しむ機会の充実を求める声が多く、文化芸術に出会う機会となるアウトリーチや芸術鑑賞会の重要性を認識し、仕組みとして一層の整備が必要。
- ・障害のある方にも、文化芸術に触れ、楽しむ機会を開くとともに、文化事業に関する情報の届け方を工夫する必要がある。

②伝統芸能等（保存活動を含む）への周囲の理解を得る取組み・後継者の不足

- ・伝統芸能等の保存活動を単なる趣味と理解されてしまう場面があるなど、伝統芸能等への理解が十分に浸透していない。
- ・伝統芸能等を中心に、実践する人の高齢化と指導者を含む後継者の不足が進行。
- ・少子化や子どもの多忙さ等により、文化芸術活動を行う子どもも減少の傾向。

③文化芸術に携わる主体間の連携不足、コーディネートする人材の不足

- ・庁内各課および文化芸術に携わる様々な主体間のネットワークが未成熟。
- ・多様な主体間の連携をコーディネートする人材や機能が不足。
- ・市と文化活動団体との間の一層の情報共有や連携も必要。

④活動する場の質・量の不足と老朽化

- ・公演場所や練習場所の確保に苦慮しているとの声が多い。
- ・市内の主要文化施設の老朽化が進むとともに、多様な実演芸術に対応した大規模な会場が市内にないことから、全国を巡回する公演の機会損失や大規模な大会が開催できないなど、文化施設の質量ともに課題がある。

⑤先進的な文化的コンテンツの創出につながる環境が未成熟・発信力の不足

- ・文化芸術のイベントなどを通じて仙台の魅力を発信し、多くの人を呼び込むことへの期待が高い。国内外に強く訴求できる、既存の文化芸術の枠にとらわれない新たな文化的コンテンツの創出につながる仕掛けや仕組みづくりが必要。
- ・発信力の不足により、文化芸術面での強みが都市のPRに活かされてきていない。

「課題」を踏まえた方向性（案）

- 多様な主体との連携により、あらゆる市民が文化芸術に身近に親しめる環境をつくる
- 次代の担い手の育成につながるため、文化芸術の持つ固有の価値への学びを深め、興味・関心を得られる機会の充実を図る
- 既存の文化芸術の枠にとらわれない、若者を惹きつける新たな文化的コンテンツの発掘・創出を図る
- 「文化芸術の総合拠点」および「災害文化の創造拠点」となる新たな複合施設の整備検討を進め、ハード・ソフトの両面において、市民が愛着を持ち、市民の誇りとなる施設とすることをめざす

目指す姿と基本理念について

「強み・個性」や「課題」を踏まえた取組みを通じた、本市の目指す姿（案）は下記のとおり。

目指す姿（案）（実現を目指すまちの姿）

〔1〕文化芸術によって都市の個性が磨かれ、人を惹きつけ躍動するまち

仙台ならではの歴史や環境を基盤に市民協働により育まれてきた文化的な取組みがまちの魅力となり、その魅力を世界に発信することを通じて、国内外から多くの人を惹きつけ、さらに活力と魅力あふれるまちとなる。

〔2〕多様な文化芸術活動が展開され、その担い手が育まれるまち

先進的な創造の取組みから市民による地域に根付いた取組みまで、多様な文化芸術活動が活発に展開されるまちとなる。また、アマチュアからプロフェッショナルまで、活躍の機会が得られ、多様な担い手が育まれるまちとなる。

〔3〕あらゆる人に参加機会が開かれ、文化芸術に親しめるまち

年齢や障害の有無等に関わらず、あらゆる人に文化芸術活動の参加機会が確保され、文化芸術に親しみ、創造性を育むことを通じて、一人ひとりの個性が生かされるまちとなる。また、心にやすらぎや活力が生まれ、豊かさが感じられるまちとなる。

〔4〕子どものときから文化芸術との出会いがあり、若者のチャレンジを応援するまち

子どものうちから文化芸術に親しみ、その楽しさを実感する機会を通じて豊かな感性を育むまちとなる。また、多様な挑戦を受け容れ、応援する風土が築かれることで、若者から活躍の場として選ばれ、仙台から世界へ羽ばたく人材が生まれるまちとなる。

〔5〕歴史と記憶が継承され、未来を描く礎となるまち

文化財や伝統文化、様々な災禍を踏まえた経験が適切に保存され、またその固有の価値が人の学びや杜の都といった都市個性に結び付くこと等を通じて、歴史ある豊かな文化的環境が次の世代に受け継がれるまちとなる。

【キーワード例】

「身近な」「誰もが」「個性ある」「次世代・未来」「若者」
「豊かな」「つなぐ・連携・絆」「人・市民」「活躍・参加」
「息づく」「文化芸術の力」「活気・にぎわい」「伊達」
「先進的」「創造性」「杜の都」「世界」